



城だより

第677号

日本古城友の会・会報

令和7年(2025)5月11日発行

近江 枝折城・醒ヶ井宿を訪ねる(6月・第740回例会)

日時: 令和7年6月1日 現地集合 雨天決行

集合: JR 醒ヶ井駅 10時10分集合・受付

行程: 醒ヶ井駅 → 林蔵坊 → 枝折城(昼食休憩) → 醒ヶ井駅(13時半頃) →
醒ヶ井宿見学 → 醒ヶ井駅 15時頃解散

※醒ヶ井宿見学は各自自由を予定しています。所要時間は1時間から1時間半
が必要と思われます。

アクセス: JR 大阪駅 → JR 京都駅 → JR 米原駅 → JR 醒ヶ井駅

8:30 発(新快速近江塩津行) 9:00 発 9:55 着(乗換) 10:00 発(普通大垣行) 10:05 着

※米原駅での乗換時間が5分しかありませんので注意。

※ICOCA を利用の場合、醒ヶ井駅下車時に清算が必要です。又復路でも下車時に清
算が必要です。(醒ヶ井駅はJR東海管内のため)

(復路) JR 醒ヶ井駅 → JR 米原駅 → JR 京都駅 → JR 大阪駅

15:34 発(快速米原行) 15:40 着(乗換) 15:47 発(新快速播州赤穂行) 16:42 着 17:12 着

担当幹事: 岸本征剛・下岡 力

持ち物: 弁当(駅近くに商店が1軒ありますが、事前に準備してください。)・飲物・敷物・帽
子・ハイキング靴・ステッキ・タオル・雨具を持参し、マスク着用は各自の判断でお
願います。

参加費: 賛助会員・正会員 800 円、通信会員・当日参加者 1000 円

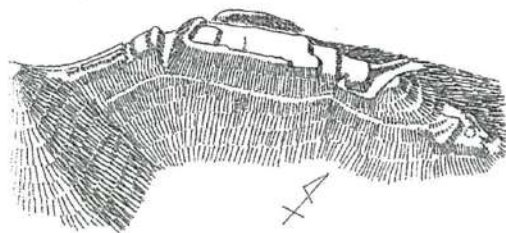
問合せ: 下岡 力

(開催は新型コロナ感染状況によります。必ずホームページを確認の上ご参加ください。)

【今回の見どころ】

【枝折城】伊豆が本拠の土肥氏の内、承久の変後、近江箕浦庄地頭職を与えられ「西遷御家人」
として現地に下向した一族は、室町時代には幕府奉公衆となり、箕輪庄周辺の「番場」・「多和田」・
「醒ヶ井」に分れ居住していたが、枝折城は醒ヶ井に居
住した土肥氏の城と考えられ、別名土肥城とも称する。

枝折城は枝折集落の南後背の標高 263.8mの尾根先端に位置し、南方背後の山が高いため尾根筋に三本の堀
切を構えているのが特徴。城跡の立地が集落の背後であ
ること、構造が極めてコンパクトであることから詰の城
と考えられる。



枝折城跡 鳥瞰図 引用縄張り図: 中井 均氏

(作図 川端義憲氏)

【醒ヶ井宿】中山道 69 次 61 番目の宿場。醒ヶ井は古代からの交通の要衝で日本武尊伝説に登場

本丸跡には唐沢山神社の本殿が鎮座しています。一段下には南城を設け守りを固めており、南東の石垣は見応えたっぷりです。ここにはかつて蔵屋敷がありました。ここからの眺望は素晴らしく東京スカイツリーや富士山までも望めます。二の丸北虎口から広い武者詰(侍屋敷跡)をすぎ長門丸を確認し、更にその先の金の丸、杉曲輪と平とや丸を分断する各堀切とその先の二重堀切を探索する行程でしたが、工事中のため進入禁止で見ることが出来ず残念でした。



(本丸にある唐沢神社 DeAGOSTINI 日本の城から)



(南城の高石垣 DeAGOSTINI 日本の城から)



(南城からの眺望 (晴れると東京の超高層ビルも見える)
DeAGOSTINI 日本の城から)



(唐沢山城遠望 (城の西を南北に流れる秋山川から見る)
DeAGOSTINI 日本の城から)

城域周囲には数多く曲輪、堀切があり守り堅固な城であることが理解できました。唐沢山城を訪れる前の昨年 1 月下旬頃、携帯メールで生前の川端義憲さんに報告しました際、「僕も車の車窓から見たよ。」と「会員通信楽しみにしているよ」と返信していただいたことが思い出されます。訪城時間が予定より早く終わったので、ご当地の B 級グルメ佐野ラーメンのお薦めの店を迎車の運転手さんに紹介してもらい、その味に満足しました。久しぶりのお城見学を満喫でき東京駅へと向いました。(完)

日本古城友の会

会 長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HP アドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力